

大使の横顔

vol.12

市のPRを行っている奥州大使の皆さんを紹介するこのコーナー。新任大使で、フジテレビアナウンサーの久慈暁子さんをご紹介します。

形づくったもの
「保育園の頃は、昼寝の時間を削ってスイミングスクールに通っていました」と語る久慈暁子さん。中学校卒業までの10年間水泳に打ち込み、冬にはアイスホッケーにも挑戦するスポーツ少女でした。高校時代には、市の交換交流事業でオーストラリアへ留学

し、世界観が広がったそうです。「小さな子どもでも母国語でない英語を話せるのには驚きました。お弁当が素材のままで、りんご丸ごと1個だったのも衝撃でした」と笑顔で当時を振り返ります。

アナウンサーへの憧れ

その後、久慈さんは青山学院大学へ進学し、学業の傍ら、

くじ・あきこ
平成6年水沢生まれ。アナウンサー。青山学院大学卒。25年に上京し、渋谷でスカウトされ芸能界入り。モデルとして活躍後、29年にフジテレビへ入社。「めざましテレビ」「めざましどようび」などに出演中。

夢に向かって

平成29年、久慈さんはフジテレビに入社し、念願のアナウンサーになりました。小さい時から見ていた「めざましテレビ」や「めざましどようび」に出演し、視聴者へさまざまな情報を伝えています。オリンピックに向けてアスリートに取材する機会も多く、カヌーの羽根田卓也選手には「奥州市には日本一のコースがある。ぜひ現地で取材してほしい」と言われたそうです。そんな久慈さんの夢は「オリンピックの感動を皆さんへ伝えること」。その夢に向かって、今日も素敵な笑顔で視聴者へ語り掛けます。

インタビュー動画を You Tube で公開中



— こんなことも聞いてみた！ —

Q.奥州市での思い出は？

水沢公園の桜。

毎年春になると、家族みんなで水沢公園の桜を見に行っていたのが思い出ですね。またみんなで見に行けたらいいと思います。

Q.市民の皆さんへメッセージ

朝は8チャンネル。

朝3時に出版社で「めざまし」の放送に臨んでいます。朝早い番組なので、早起きがつらいかもしれませんが、朝は8チャンネルをご覧ください。

※広報掲載に合わせて奥州大使の皆さんの動画を公開予定。

「奥州市」にチャンネル登録しよう！

奥州市 ユーチューブ

検索

<今月の表紙>

手洗いで感染予防



新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、市内小中学校が3月初めから臨時休校に。市内の放課後児童クラブなどでは、児童が安全に過ごせるように対策を取りながら受け入れていました。写真は、みなみ放課後児童クラブの子どもたち。手洗い・うがいを徹底し、感染予防に努めていました。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 大使の横顔
- 4 令和2年度施政方針 / 令和2年度教育行政方針
- 6 2年度予算の概要
- 9 まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定
- 10 子ども・子育て支援事業計画を策定しました
- 11 市内4カ所の幼稚園で閉園式が行われました
- 12 2020 スポニチいわて奥州きらめきマラソン
- 13 インターハイに向けたクラウドファンディング目標金額を達成 / 農業における新型コロナウイルス感染症に関するガイドライン
- 14 街diary
- 16 出前講座「次世代の公共施設を考えよう」

- 地域の集会施設整備を補助します
- 17 土地と家屋の現況調査を実施しています
軽自動車税（種別割）のお知らせ
- 18 10月1日に国勢調査が実施されます
- 19 ILC希望のひかり
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 20 いいとこ、知っとこ おうしゅう
- 21 まなびの里
- 22 もっと安心 ずっとおうしゅう
はい、こちら総合相談室
- 23 子そだて広場
- 24 インフォメーション
- 28 奥州遺産



78

松本 崇さん（37歳）

=水沢字立町=

次世代につながる 卵を目指して

殻を割って出てくる卵は黄色が抑えられたレモン色。食べた人から「自身の臭みがない」「黄身に甘みがある」といった声が聞かれる「まっちゃんたまご」を生産・販売しているのが松本崇さんだ。父親が趣味で始めた養鶏を引き継ぎ、本業としたのは10年前。育て方を自分で考えられることにやりがいを感じた。始めた当時50羽ほどだった鶏は現在200羽以上。平飼いで飼い、餌は国産にこだわ。米と、米を発酵させたものみかすを中心に、魚粉や焙

卵は、みずさわ観光物産センター・ZプラザアTELイなどで販売。天真くんのおすすめの食べ方は「とろとろの目玉焼き」

煎した大豆を加える。卵の黄身の色は鶏が食べた物が影響しやすい、まっちゃんたまごの色が薄いのはこのため。卵は市内の産直などで販売され、この卵を使ったメニューを提供するカフェも増えた。「同世代が経営する店で自分の卵を使ってくれるのがうれしい」と崇さん。「さらに若い世代の人にも選んでもらえるように」と日々の飼育に工夫を重ねる。「お父さんの特技は、人を笑顔にすること」と長男の天真くん。崇さんの卵は、ほんのりとした幸せが味わえる。



まつもと・たかし◎昭和57年、水沢生まれ。採卵の養鶏業を営む「まっちゃん農園」の代表「鶏」締役。趣味は卵の配達先の人たちと話すこと。妻と小学生の子ども2人の4人家族。